

第2節 敷地分析

【全体】

計画地における全体の現地の状況を以下に整理します。

- ① 桜並木と多目的グラウンドABCDの間に車両及び利用者が通ることのできる通路が見られる。
(W=8.4m程度)



- ② 河川敷にヘリポートが整備されている。



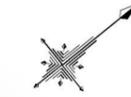
- ③ 計画地と河川敷を繋ぐ階段が全体で3つ整備されているが、手摺りがなく危険である。
踏み幅：30cm 蹴上げ：20cm



- ④ 園路の奥に武甲山を望むことができる。



- ⑤ サッカー場と多目的グラウンドABCDの間に放送設備がある。



平面図

- ⑥ 桜並木が形成されている。



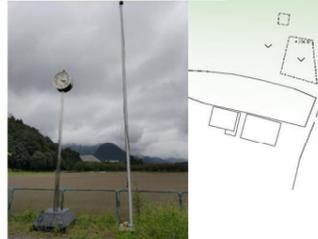
- ⑦ 施設内通路は土舗装であり、降雨後は水たまりが見られる。



- ⑧ 防災用倉庫が整備されている。



- ⑨ 掲揚ポールと時計台がある。



- ⑩ 施設利用ルールが記載されており、ペットの連れ込みが禁止されている。



- ⑪ 女性用、男性用、多目的トイレが整備されている。



- ⑫ 管理棟があり、管理棟前には管理者の車が駐車されている。



- ⑬ 南東側に芝生の空間があり、日常時には駐車場として利用されている。



図 2-12 現地状況（全体）

【多目的グラウンド ABCD】

計画地における多目的グラウンド ABCD の現地の状況を以下に整理します。

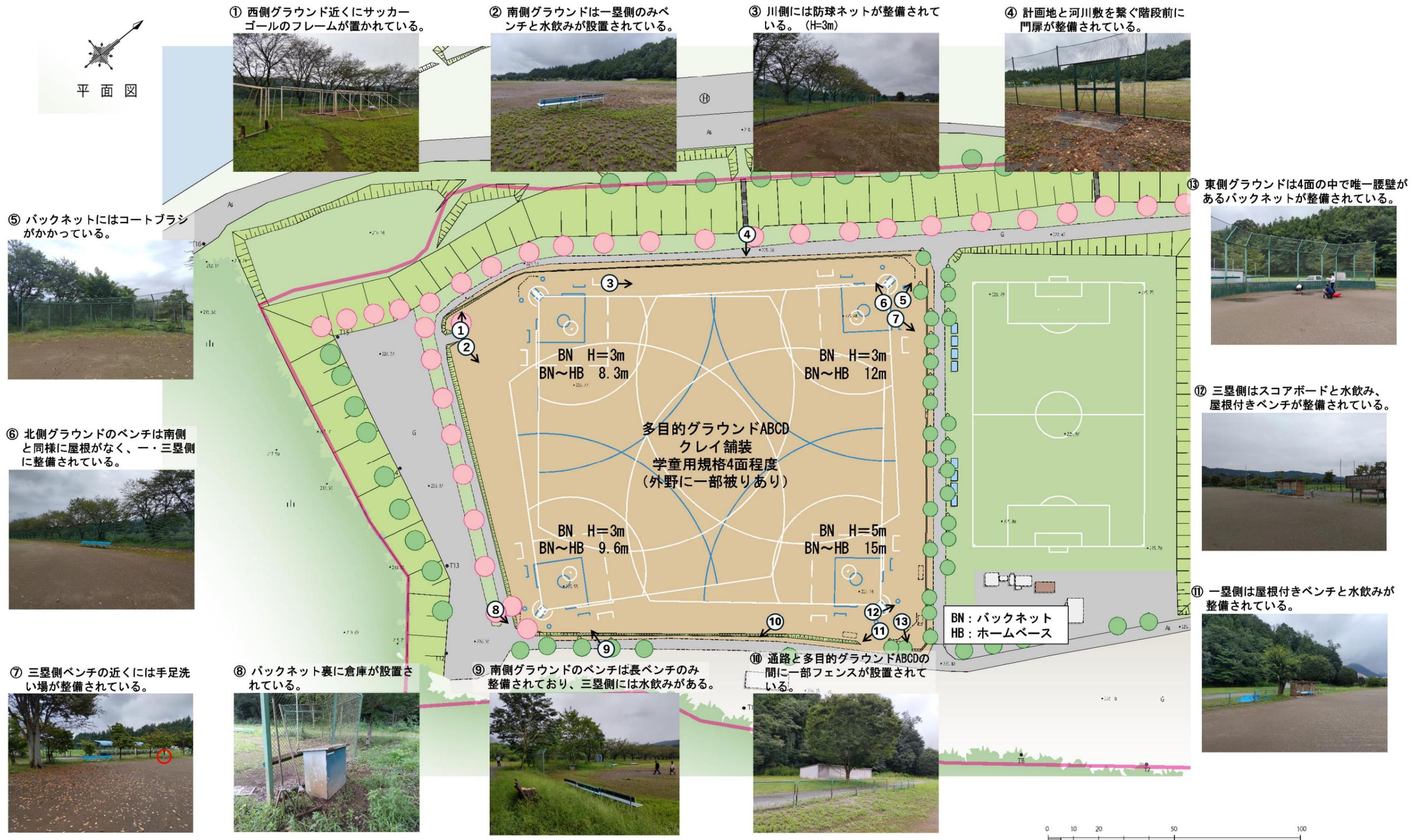


図 2-13 現地状況 (多目的グラウンド ABCD)

【左：サッカー場（天然芝） 右：多目的グラウンド（人工芝）】

計画地におけるサッカー場（天然芝）、多目的グラウンド（人工芝）の現地の状況を以下に整理します。

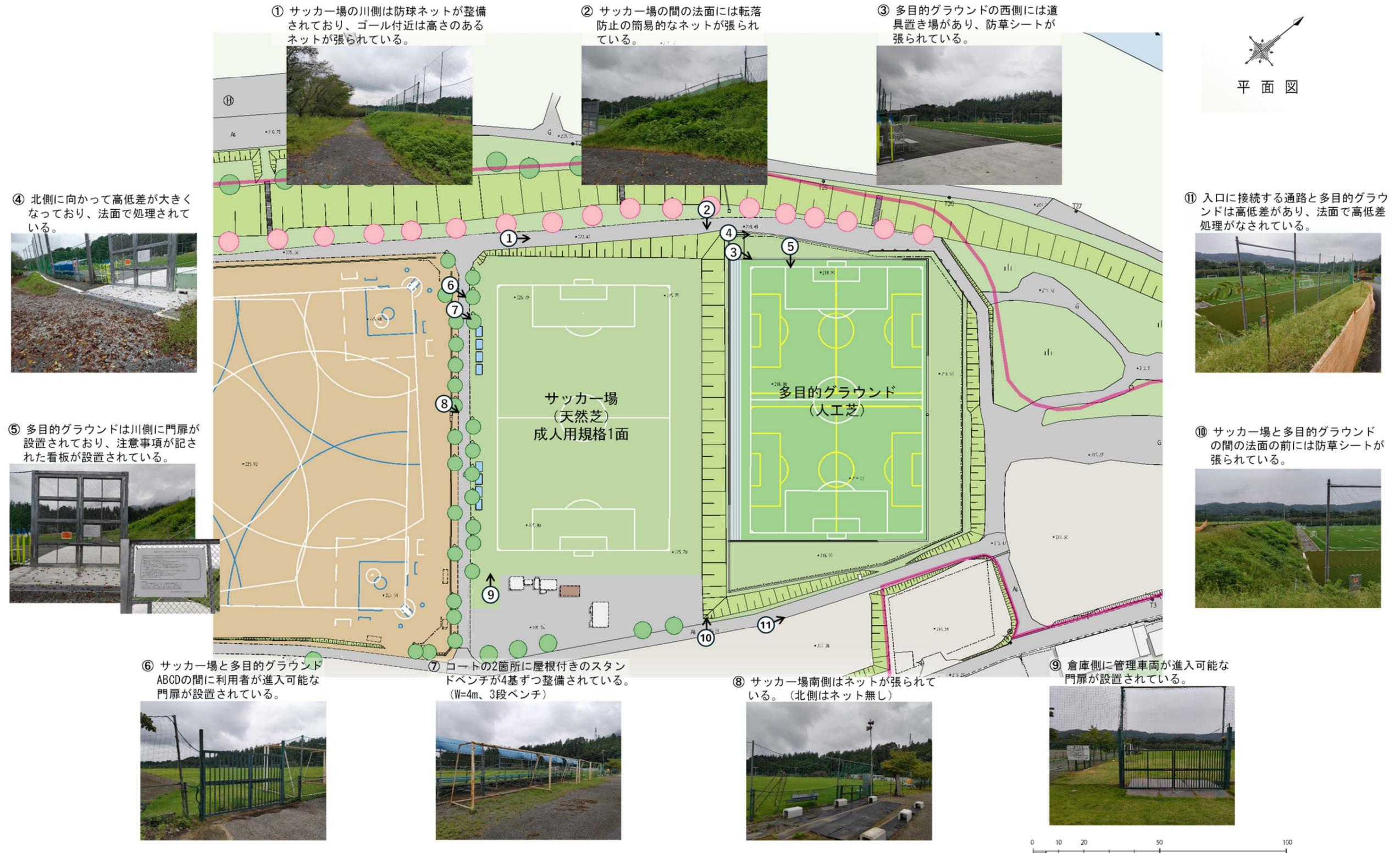


図 2-14 現地状況（サッカー場（天然芝）、多目的グラウンド（人工芝））